

表：推し変態度尺度の因子分析結果（最尤法、プロマックス回転；パターン行列）

	F1	F2	F3	F4	h^2
F1. 心理的抵抗感($\omega = .91$)					
推しを変えることを考えると、罪悪感を感じる	.80	.01	-.03	-.02	.62
推しを変えることには抵抗感がある	.73	.10	.03	-.21	.64
推しを変えることは今の推しへの裏切りだと思う	.72	-.20	-.07	.09	.58
推しを変えることは苦しみを伴うものだと思う	.68	.06	.12	-.02	.53
推しを変える人は、推しのことを軽く考えていると思う	.62	-.27	-.11	.14	.48
自分が推しを変えるとしたら、とても迷う	.59	.17	.24	-.10	.54
F2. 推し変の許容($\omega = .88$)					
推しを変えることを、以前同じ推しを応援していたファンに黙っているのは、不誠実だと思う	.20	-.64	.20	.28	.45
誰もが同じ人をずっと推せるわけではないと思う	.11	.61	-.05	.14	.41
推しを変えるのは個人の自由だと思う	-.10	.61	.17	.00	.49
気持ちが離れた推しを無理に追い続けることはしない	.11	.61	-.09	.13	.38
他人が推しを変えるかどうかに関心がない	.02	.59	.03	-.02	.34
自分が推しを変えたとしても、推しへの影響はほとんどないと思う	-.03	.58	.04	.06	.39
推しを変えることは悪いことではないと思う	-.20	.56	.07	.22	.63
F3. 推しへのロイヤルティ($\omega = .88$)					
自分は推しがどんな状況でも応援し続けたい	-.14	-.12	.80	.02	.51
自分は推しへの気持ちを大切にしたい	-.04	.12	.69	.05	.49
別の人が気になっても、最終的には自分の推しに戻ると思う	-.02	-.09	.69	.03	.44
自分は推しの成長をずっと見届けたい	.01	.06	.65	.10	.44
自分の推しへの気持ちは簡単には揺らがない	.13	.04	.65	-.15	.59
自分は一度推した人をずっと推し続けるタイプだ	.22	.00	.48	-.11	.43
F4. 推し変レディネス($\omega = .78$)					
きっかけさえあれば、推しを変えることができると思う	-.01	-.07	.05	.82	.62
時には推しを変えてしまうこともあると思う	-.04	.03	.04	.63	.43
必要であれば、自分は推しを変える決断ができると思う	-.07	.04	-.03	.61	.44
推しを変えることが自分にとって最善だと思えば、その選択を取れる	.10	.25	-.06	.49	.36
因子間相関					
	F2	-.40			
	F3	.47	.17		
	F4	-.35	.44	-.20	